

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」塩尻校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	パーティションのみの仕切りなので、他児の支援中の音が気になってしまう利用者もいる。支援時間中はなるべく大きな音を立てないように配慮し、必要であれば、時間の変更や家具の配置変更等により対応する。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	マンツーマンの支援を行えるようにその日の利用人数によって配置数を調整している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	0	パーティションで区切ったり、視界に物を少なくしたりして配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	週に一度利用者の様子について共有する機会を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	0	3	定期的に外部機関の講師による事例検討会を実施している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	月に一度療育やアセスメント等に関する研修や事例検討会等に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	法人で作成したアセスメントシートを使用して分析を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	法人で作成したアセスメントシートを使用して分析を行っている。また、医療機関と連携し、情報共有している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	週に一度、支援内容について職員間で話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	職員各々がアイデアを出し合いながら教材を作り、支援が固定化しないようにしている。さらに様々なアイデアを取り入れられるように、法人内の事業所間の職員交流も始めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	長期休みや祝日には時節に合ったイベントを実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	個別活動を主とし、集団生活に課題がある利用者に対して集団活動を行う行事への参加を促している。また、集団活動を想定した課題設定を行い、プログラムに反映している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	朝礼時にその日のスケジュールと利用者について確認を行っている。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	0	利用者の様子で気になったことや家庭の様子等、職員間で共有すべきところは共有し記録に残している。終礼時に欠席連絡や連絡事項について確認している。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	支援記録には、支援内容の他に利用者の様子、状況を記入し、会議時に検討している。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	利用者と話し合って見直しを行っている。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	1	0	自立支援と日常生活の充実のための活動に加え、創作活動や余暇活動も取り入れている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	可能な場合は複数人で参加し、より子どもの状況を把握、周知できるようにしている。
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	0	支援者会議に参加し、関係機関と情報を共有している。支援者会議が定期的に開催されないケースもあるため、その場合はこちらから支援者会議開催の提案や企画を行うようにする。
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	0	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援を行っていない。
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	0	支援者会議に参加し、関係機関と情報を共有している。
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	0	まだそのような事例がない。
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	定期的に児童発達支援センター主催の研修に参加している。
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	5	利用者が保育所や幼稚園等へ行く機会はない。個別支援の事業所であり、保護者から望む声もないため慎重に進め、他事業所と連携を図りながら取り組んでいく。
	⑩⑰	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	0	自立支援協議会に毎回参加している。
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	毎回支援後にその日の様子を伝え、保護者からも家庭での様子を伺っている。また、事業所内相談支援を適時行い、子供の発達状況や課題について共通理解を持つようにしている。
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	0	希望があった場合、事業所内相談支援にて支援を行っている。
保護者への説	⑩⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時に説明を行っている。
	⑩㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	事業所内相談支援にて家庭での様子を伺い、助言や支援への反映等をしている。

明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2	希望がある場合は、保護者同士の連携が取れるように相談の場を設けている。 今後は、就学前、高校受験前に希望者を募って保護者会を実施する予定である。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	契約時に説明を行っている。
非 常 時 等 の 対 応	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	会報、ブログ、SNS等で情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3	近隣の学校のボランティアを受け入れている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	
非 常 時 等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	職員間の定期的な訓練に加え、利用者がある際にも訓練を行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を設置し、定期的に研修を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	契約時に保護者へ説明を行い、個別支援計画に記載している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	3	契約時にアレルギーの有無を確認している。 食事の提供を行っていない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」塩尻校

保護者等数（児童数）： 31 回収数： 29 割合： 93 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	13	0	・机上のみの活動なら十分。 ・もう少し広い方がよいと思う。 ご迷惑おかけしております。時間の変更による対応は可能ですので、ご希望があればお申しつけください。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	3	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	17	4	現在スロープや手すり等の設置はございませんが、段差を少なくして配慮しております。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	26	3	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	23	6	0	・長期休みのペンキジョーやイベントがあり、楽しんでいます。 ありがとうございます。今後も楽しいイベントを企画してまいりますので、是非ご参加ください。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	14	12	主に個別支援を提供させていただいている事業所ですが、もしご希望があれば、他機関と連携を図りながら個別対応させていただきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	3	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	5	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	18	8	ご希望があった場合、保護者様同士の連携が取れるように相談の場を設けております。今後は、就学前、高校受験前に希望者を募って保護者会を実施する予定です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、	15	14	0	

		苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	3	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	12	1	Instagram は毎週、ブログは毎月更新しております。ぜひ、ご覧ください。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	4	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	14	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	16	1	毎月避難訓練・防災訓練を実施しております。また、教室に掲示ポスターにて訓練のご案内をいたします。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	24	4	1	<p>・いつもありがとうございます。</p> <p>・どちらとも言えませんが、行きたがらないということはないです。</p> <p>こちらこそありがとうございます。今後ともよろしく願っています。</p>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	28	1	0	<p>・きりさんに通えて、本当によかったです。引き続きよろしく願います。</p> <p>・1日に2コマ等もう少し長い時間利用できると嬉しい。</p> <p>・子どもの気持ちに寄り添ってもらい苦手なことに力を入れて取り組んでいただき、本人の力になり、自信がついていっているように感じます。</p> <p>こちらこそよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。少しでもお子様の成長にお力添えできれば光栄です。</p> <p>今後の情勢や制度の改定状況を踏まえて検討をさせていただき、可能な限り保護者様のご要望に沿えるよう努めたいと思います。</p>

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。